

## 会議録：「令和1年度第1回恵那市産業振興ビジョン検討部会」

---

日時：令和1年8月26日（月）10：00～12：00

場所：恵那市役所

参加者：別紙参照

### 1. 開会

事務局：「6/14に第1回恵那市産業振興会議を開催し、各産業の課題について議論いただいた。来年度へ向けて事業化できるものはしていきたい。忌憚のない意見をお願いします。」

### 2. 報告事項

事務局：資料①～③を説明。

### 3. 検討事項

事務局：「資料④に第1回恵那市産業振興会議で出された意見やこれまで残っている課題をまとめてある。順に意見をいただきたい。」

#### <主な意見>

《外国人労働者について文化の違いなどから地域住民とトラブルになるケースがあるが、困っていることなどあるか。》

- ・過去に失踪した外国人実習生もいる。
- ・中心市街地に近い場所でアパートを探したが、借りられず少し離れた場所に借りた。
- ・周辺住民へあいさつに回ってお願いしたので住民とのトラブルはない。
- ・日本語を学ぶ場所は恵那市や中津川などにはないので社員が教えている。
- ・外国人同士がフェイスブックなどSNSを利用して自分の会社の給料情報などを共有する。他社の待遇がいいと辞めてしまったり引き抜かれたりしてしまう。
- ・東京五輪を控え、溶接業務をする2～3年目の人が引き抜き対象として狙われる。
- ・第3者が入って外国人労働者と話しをする機会などがあるといい。
- ・社内で勤務時間内に日本語を教えている。時間外だとブラック企業と言われてしまう。
- ・在留期間を3年から5年に延長するために第3号技能実習企業になりたい。そのためには日本語検定3級の合格者を6割以上にすることがある。市の国際交流協会日本語教室を開催しているが山岡からは行かないので近くで開催されるといい。
- ・外国人労働者は一軒家を借りて住んでいるが地域との交流はあまりない。ゴミ拾いでもイベントでも地域との交流があるともっと良くなる。
- ・買い物も困るので巡回販売が増えるといい。
- ・国や県の方向性はあるか。人口減少が進むのは明らか。企業だけでできることとできないことがある。
- ・外国人労働者に対応したまちづくりについては総合計画に位置づけて取り組んでいきたい。
- ・国では外国人の悩み相談ダイヤルを設けて外国人労働者が働きやすい環境を整備している。

- ・年数によって給料に格差を付けているのか。
- ・1年目は最低賃金だが2年目以上昇級している。
- ・コストとしては日本人と変わらないが、何もない田舎より東京へ行きたがる。
- ・市内企業が外国人労働者に対してどのように考えているかアンケートを取ってほしい。

《高校生の確保についてはどうか。》

- ・親の意見が大きい。親を集めた企業説明会があってもいいのでは。
- ・現場を見てもらうといいが、特に母親の意見が大きい。学生から親へ伝えるとワンクッション下がってしまう。土日に企業見学をする必要があるなら企業側も対応するよう努力する。
- ・学校側も調整してくれるようになった。山岡中学とも調整が進んでいる。土曜日に授業の日があるときに合わせて企業に参加してもらう。地元企業を知ってもらう機会を増やしていく。
- ・中津川市の方がネームバリューがある企業が多いので高校生も中津川市の企業へ行ってしまふ。地元で働くことの良さを知ってもらえるような取り組みをしたい。
- ・インターンシップは市街地はアクセス良いが山岡まで行く手段がない。学生は自転車で行ける範囲でインターンシップに参加することが多い。受入体制はできているが来てくれない。
- ・親にも理解いただく機会があるといい。
- ・建設業では出前授業などを実施している。
- ・ケーブルテレビを活用して市内企業の紹介映像を学校で流すなどできるといい。
- ・他市では親子ものづくり教室などの取り組みを実施しているところもある。会社によっては危険な作業もあると思うが体験できるといい。
- ・木工教室はやっている。企業も努力したい。
- ・継続していくことでたくさんの人に周知されて知る機会が増えるといい。

《独自の技術や自社ブランド強化についてどう考えるか。》

- ・関市のように中心となるものがあるわけではない。医療やロボット産業などは裾野が広い。医療の現場で段ボールを活用する事例があると聞いた。医療やロボットなど成長産業分野の企業を招聘してマッチングすることもいい。
- ・企業だけでなく大学なども含めた異業種連携という点ではどうか。
- ・冬場に作業がない農家を建設現場で雇ったと聞いた。農業と建設の連携なども考えられる。
- ・除草の手伝いなどでお願いできる。ロボットができることはロボットにさせることも考えられる。

《ITやIoTの活用についてはどうか。》

- ・生産性向上につながるか分からない。
- ・部分的な省力化に活用している。例えば一輪車は自走式。県の補助金を活用して導入を進めている。
- ・IoTなどを導入する際、東京の会社を使っている。
- ・岐阜県はITやIoT関連企業が少ない。世の中の流れを見てもITやIoTの導入は不可

避。名古屋や東京の企業よりも近くにあった方がいいのでは。

- ・業種によって必要なものは違うので各社の導入事例を紹介したり交流して意見交換したりする機会があるといい。

《企業誘致についてはどうか。》

- ・恵那市の事業所数は減少傾向。若者の選択肢が増えることも含めて新たな産業など誘致は必要ではないか。
- ・誘致企業に人材を取られないよう考慮し、既存企業を守ってほしい。アイシンのときには4人引き抜かれた。
- ・市内で雇用した場合に助成金などないか
- ・現状はない。人口流出を防ぐためにも企業誘致は必要と考える。一長一短あるが、できるだけ既存企業と関連のある企業を誘致し魅力ある市にしたい。
- ・企業誘致よりも人の誘致をした方がいい。人がいれば企業も来る。そのために住宅を増やすことが必要。
- ・ビジョンに挙げていきたい。

#### 4. 次回検討部会

事務局：「今回は9月下旬頃に開催予定。本日いただいた意見から実施可能な具体的事業に落とし込み意見をいただきたい。」

#### 5. その他

事務局：IoT活用支援セミナーと副業人材活用事業について説明。

#### 6. 閉会

## ■まとめ

### <外国人労働者について>

- 中心市街地に近い場所でアパートを探したが、借りられない。
- 日本語教室が近くで開催されるといい。
- 地域の交流がもっとあるといい。
- 買い物が困るので移動販売が増えるといい。
- 都市部の会社へ行きたがる。
- 市内企業が外国人労働者の雇用についてどう考えているかアンケートを取ってほしい。

### <高校生の確保について>

- 親の意見が大きいので、親を対象とした企業見学会などがあるといい。
- 土日の企業見学などにも対応したい。
- 学生はインターンシップに行ける範囲が限られているので遠い場所の企業には来てくれない。
- ケーブルTVを利用して市内企業の紹介映像を学校で流せないか。
- 他市では、ものづくり教室などを実施し、企業を知ってもらっている。
- 継続していくことで多くの人に知ってもらいたい。

### <独自の技術や自社ブランド強化について>

- 医療やロボットなど成長産業分野の企業を招聘してマッチングすることもいい。

### <ITやIoTの活用について>

- 生産性向上につながるか分からない。
- 各社の導入事例を紹介したり交流して意見交換したりする機会があるといい。
- ITやIoT関連企業が近くにあるといい。

### <企業誘致について>

- 若者の選択肢が増えることも含めて新たな産業など誘致は必要。
- 誘致企業に人材を取られないよう考慮し、既存企業を守ってほしい。
- 既存企業と関連のある企業を誘致。
- 人を増やすため住宅を増やす。